

第10回 よみがえれ! トキ

# 佐渡 文弥人形

上演会

野生のトキが  
最後まで棲んでいた  
佐渡島東部、  
野浦・片野尾地区で  
受け継がれる  
重要無形民俗文化財「文弥人形」。  
『トキを育むお米』の  
栽培に取り組む生産者が演じる、  
伝統の人形芝居を  
今年もお楽しみください!



棚田が海に迫る産地の風景



ひとりの太夫による  
圧巻の弾き語り!



人形に触れられる!  
公演後のミニ交流会  
(イメージ)



参加者全員にプレゼント  
『トキを育むお米』3合 (450g)



私たち出演者が  
育てています!



※写真はイメージです。

日 時: **3月2日(土)**

受付開始: 12時30分

開 演: 13時30分 (15時終了予定)

会 場: 四谷ひろば講堂 (東京おもちゃ美術館1階)

東京メトロ丸の内線「四谷三丁目駅」2番出口より徒歩5分

入 場 料: 500円 (東京おもちゃ美術館の入場料割引券販売有り)

※駐車場はありません。公共の交通機関をご利用ください。

※会場には暖房設備がありませんので、暖かい服装でご参加ください。

※座席は先着のため、参加者数によってはお立ち見となる場合があります。

「景清牢破りの段」

四段目

『出世景清』

近松門左衛門 作

しめつけ

かげきよ

あこや

きよ

●文弥人形上演

●祝いの舞

●春駒

●民謡

●佐渡おけさ

平家復興を願う残党、  
景清と遊女阿古屋の  
激しい愛憎の物語

当日プログラム

主催: よみがえれ! トキ  
「文弥人形」上演会実行委員会

お問い合わせ・申し込み 参加希望の方は事前に下記までお問い合わせの上お申し込みください。

よみがえれ! トキ「文弥人形」上演会実行委員会 事務局 (パルシステム連合会 交流政策課)

TEL 03-6233-7207 (月~金10:00~17:00) メール bunyaningyo@pal.or.jp

pal\*system



よみがえれ! トキ 文弥人形上演会

## 四つのテーマ

- ◆産直を通して、地域社会や環境を守る運動を広げていきます。
- ◆有機農業、環境保全型農業を進めていきます。
- ◆伝統芸能を通じて、都市と農村の文化交流を進めていきます。
- ◆作る人、食べる人、すべての人が協力していきます。

## いまトキは?

乱獲や生息環境の悪化によって、一度は絶滅してしまったトキですが、中国の協力などにより繁殖に成功。2008年からトキの放鳥・野生化への活動が続き、現在、佐渡島に生息するトキの数は367羽と推定されるまでになっています(2018年11月13日現在)。この成果は、行政や研究者の努力はもとより、「トキと人が共に暮らせる環境を取り戻そう」と環境保全型の農業に取り組む生産者の協力が大きな鍵となりました。



## 文弥人形とは?

「文弥人形」とは、佐渡島に伝わる国の重要無形民俗文化財のひとつです。江戸時代に始まる浄瑠璃の一派・文弥節にのせて演じられる人形芝居ですが、大正時代末期には後継者が減り、終戦後は絶滅の危機に。その後1970年代後半から島ぐるみで保存の取り組みが始まり、現在では島内に5座ほどの文弥人形のグループがあり、活動を続けています。



## 野浦双葉座とは?

1979(昭和54)年、初代座長、臼杵司氏ら、8人の有志により発足。現在では20~30代を含む12名が所属する、島内一の規模を誇る文弥人形の一団です。座員は『トキを育むお米』の生産者でもあり、半農半漁のくらしのなか週1回の厳しい稽古に励み、地元はもとより全国各地でこれまで500回以上の公演を重ねています。



このイベントは、以下の団体・企業にご賛同いただいています。

- 生活協同組合 生活協同組合パルシステム東京、生活協同組合パルシステム神奈川ゆめコープ、生活協同組合パルシステム千葉、生活協同組合パルシステム埼玉、生活協同組合パルシステム茨城 栃木、生活協同組合パルシステム山梨、生活協同組合パルシステム群馬、生活協同組合パルシステム福島、生活協同組合パルシステム静岡、パルシステム共済生活協同組合連合会、パルシステム生活協同組合連合会
- 関連企業・団体 SBSゼンツウ株式会社、株式会社YUIDEA、株式会社ジーベエス、協同組合JASMEQ、全農パールライス株式会社

■後援 佐渡市

■共催 認定NPO法人芸術と遊び創造協会、東京おもちゃ美術館

■主催 パルシステム よみがえれ! トキ「文弥人形」上演会実行委員会

【問い合わせ先】よみがえれ! トキ「文弥人形」上演会実行委員会 事務局(パルシステム連合会交流政策課)

TEL 03-6233-7207(月~金10:00~17:00)

## 『トキを育むお米』とは?

日本最後の野生のトキが生息していた佐渡島の東部、野浦・片野尾地区で、パルシステムと産直提携を結ぶ生産者が慣行栽培よりも化学合成農薬や化学肥料を5割削減して栽培しているお米です。「トキも人もすみやすい」環境保全型の農業をめざして、行政やNPO法人などと連携しながら棚田を再生し、耕作放棄された田んぼにも一年中水を入れてトキの餌場となる生き物を育むための池(ビオトープ)を作り、あぜ道にも除草剤は使わず2週間に一度は草刈りをしながら、生産者がいてねいに手をかけて育てています。



中国・日本・韓国 第1回  
とく  
朱鷺国際フォーラムで

パルシステムが  
「朱鷺賞」を  
受賞しました!

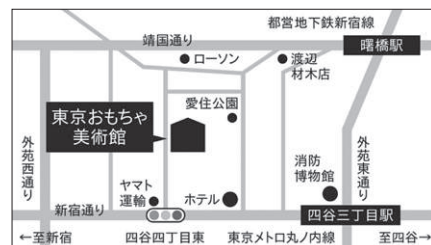


2018年5月に中国漢中市洋県で開催された「中国・日本・韓国 第1回朱鷺国際フォーラム」でトキの保護に貢献した個人や団体に授与される「朱鷺賞」をパルシステムが受賞しました。商品代金の一部をトキが棲める環境整備活動に役立てているほか、今回で10年目を迎える「よみがえれ! トキ『文弥人形』上演会」をはじめ、生産者と組合員の交流を通じて互いに理解を深める活動が高く評価された結果です。

会場

四谷ひろば講堂  
(東京おもちゃ美術館1階)

〒160-0004  
東京都新宿区四谷4-20  
TEL 03-5367-9601  
東京メトロ丸の内線  
「四谷三丁目駅」  
2番出口より徒歩5分



※駐車場はありません。公共の交通機関をご利用ください。